

TOTO

ウォシュレット® ネオレストハイブリッド (便器部)

BM/BHM

◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。
この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

	禁止 は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		必ず実行 は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
--	--	--	---

注意

	禁止	<p>便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>給水フレキホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> <p>止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないと水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	必ず実行	<p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。</p> <p>設置工事は、この説明書に従って確実に 故障や水漏れの原因になります。</p>

同梱部品

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

便器本体	排水アジャスター	Pシール
便器本体 (1個)	便器接続部 (1個) ※ゴムジョイント付き	金属フランジ用 (1個) 樹脂フランジ用 (1個)
すっきりパネル	給水金具	固定金具類
すっきりパネル(左) (1個) すっきりパネル(右) (1個)	止水栓 (1個) 床継手 (1個) クイックファスナー (1個) 木ねじ (床継手用) (φ4×30:4本)	六角ボルト (2本) 止め金具 (2個) ナット (2個) ワッシャー (2枚)
	エルボ (1個) ストレート管 (1個) フランジ (1個) 分岐金具 (1個) パッキン (1個)	木ねじ(便器接続部用) (φ6×60:4本) Tボルト (2本)
	給水ホース (1本) ※パッキン付き	ワッシャー (2枚) ナット (2個)
		その他
		施工説明書 (1部) 開閉工具 (1個) ※すっきりパネル裏側に貼り付けてあります。
		位置決めシート (1枚) 水受けトレイ (寒冷地のみ:1個) ※お客様に渡してください。

取り付け前のご注意

- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 窓枠、棚、収納キャビネットなどと便ふたの干渉にご注意ください。便ふたが当たって開ききらないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端 FL+1400mm以上を目安としてください)
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
- 電源は交流100V (50/60Hz)、定格消費電力はAH1:1284W、AH2・AH3:1379W (ヒーター付便器の場合はAH1:1324W、AH2・AH3:1419W) です。
- 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時):0.05MPa、最高水圧(静止時):0.75MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 止水栓を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。
- 施工前には、埋設されている給水配管などの破損を防止するため、位置を確認してください。

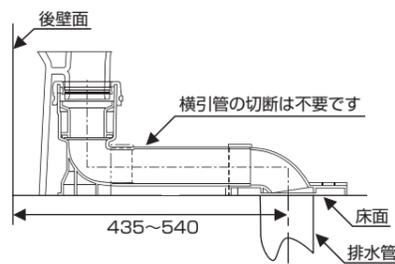
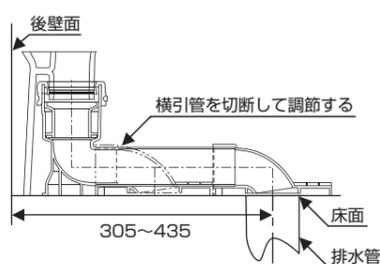
排水心の確認

●排水心305~435mmの場合

横引管を排水心にあわせて切断し、塩ビ接着剤で確実に接続してください。
※排水心305mmの場合、横引管は不要です。

●排水心435~540mmの場合

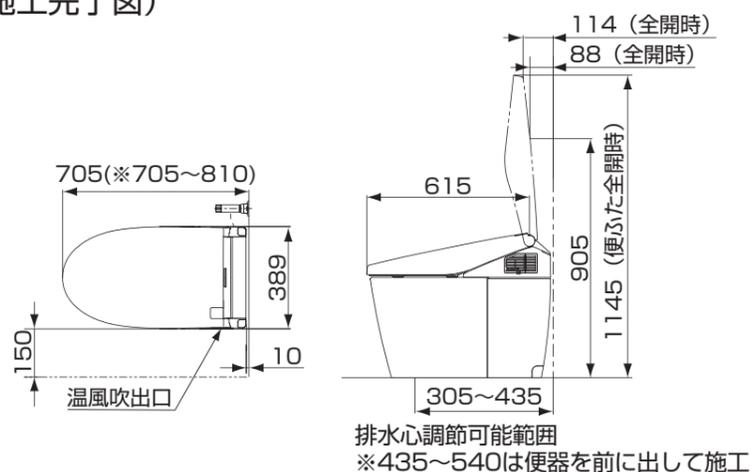
横引管の切断は不要です。便器を前にずらして施工してください。



※便器排水心が435~540mmの場合は便器を前に出して施工可能。

商品セット図 (施工完了図)

(単位: mm)



注) C730から取り替えの場合、排水心が壁から540mmにあるため便器と壁とのすき間は145mmとなります。

※寒冷地(水抜き方式)の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。
水抜きハンドルはパネルと干渉しない位置に立ち上げてください。

給水位置の確認

注意



禁止

給水位置の真下に電源コンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・電源コンセントを接触させない結露水などにより、電源コンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。



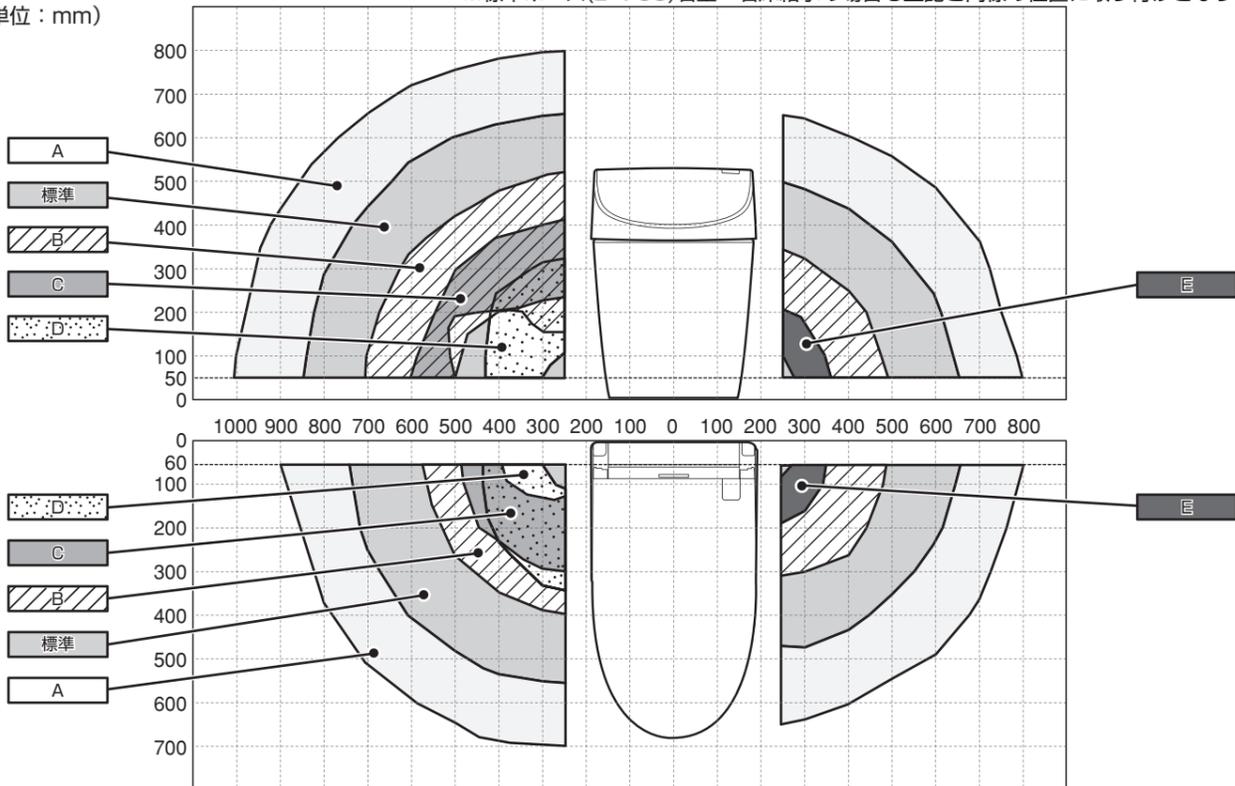
必ず実行

ヒーター付便器、水抜き併用方式をお使いのお客様は、ホース内の水抜きができるような勾配を確保して取り付ける水が抜けずに凍結し、通水できないおそれがあります。

止水栓取付位置	給水ホース品番	給水ホース長さ	止水栓取付範囲(下図参照)
標準	標準ホース	700mm	標準給水ホースでの止水栓取付範囲
A	TN111L86	860mm	Aの給水ホースでの止水栓取付範囲
B	TN111L552	550mm	Bの給水ホースでの止水栓取付範囲
C	TN111L45	450mm	Cの給水ホースでの止水栓取付範囲
D	TN111L40	400mm	Dの給水ホースでの止水栓取付範囲
E	TN111L37	370mm	Eの給水ホースでの止水栓取付範囲

●給水ホースの到達範囲を示したものです。ホース長さ、給水位置によってはホースが大きくなる場合があります。
●TN111L37は長さ調整用の継手を使用しない場合の範囲を示しています。
—前提条件—
■左壁、左床給水の場合、床継手は標準位置に取り付けとなります。
■右壁、右床給水の場合、床継手を位置決めシートの床継手取付範囲の右側寄せで取り付けとなります。
※標準ホース(L=700)右壁・右床給水の場合も上記と同様の位置に取り付けとなります。

(単位: mm)



※寒冷地(水抜き方式)の場合、給水対応範囲は床給水のみとなります。水抜きハンドルはパネルの着脱と干渉しない位置に立ち上げてください。
※給水ホースが折れないように接続方向を調整してください。給水ホースが折れると水が流れなくなったり、水漏れするおそれがあります。

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。
(は本紙、 はウォシュレットの施工説明書を参照ください)

- 1 既設便器の取り外し
- 2 位置決めシートの使いかた
- 3 横引管の切断
- 4 排水アジャスターの組み立て
- 5 位置決めシートで固定穴位置をけがく
- 6 給水金具の取り付け

- 7 給水ホースの接続
- 8 固定片・排水アジャスターの取り付け
- 9 便器の取り付け
- ウォシュレット本体を取り付ける
- すっきりパネルの取り付け
- 取り付け後の確認

各部のなまえと施工のポイント

ポイント⑧
すっきりパネルの取り付けはウォシュレット本体を取り付けたあとに行うこと!

ポイント④
給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意すること!
(⇒7)
給水ホースの取り回し例(床給水)

ポイント⑦
便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと!
(⇒9)
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

ポイント①
横引管切断は真っすぐ切断すること!(⇒3)

ポイント②
接着剤塗布位置を間違えないこと!(⇒4)

ポイント⑤
床面に対してガタツキがないように接着すること!(⇒8)

ポイント③
位置決めシートで固定片の位置をきちんと出すこと!(⇒5)

ポイント⑥
Pシールの種類およびセットの方法は既設フランジの種類によって異なります。(⇒8)

※既設フランジ
T53WR75, T53WR100, T53PR75, T53PR100, HP430系

便器洗浄バルブ
すっきりパネル(右)
便器ヒーター用プラグ
水受けトレイ
※お客様に渡してください。
<ヒーター付便器の場合>

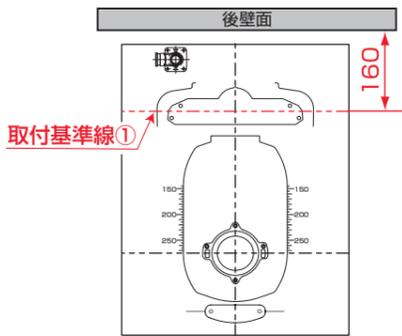
取付方法

1 既設便器の取り外し

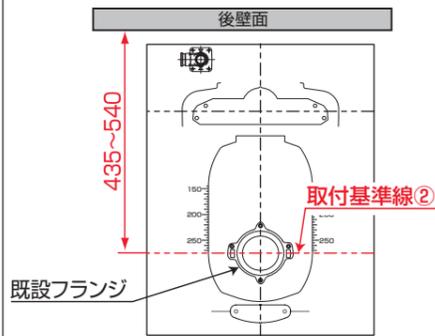
既設の便器を取り外し、Pシールをきれいに取り除く。
その後、既設フランジ中心線を床にけがく。

2 位置決めシートの使いかた

●排水心305～435mmの場合
後壁面から160mmの位置に位置決めシートの取付基準線①をあわせて置く。



●排水心435～540mmの場合
既設フランジ中心線に位置決めシートの取付基準線②をあわせて置く。

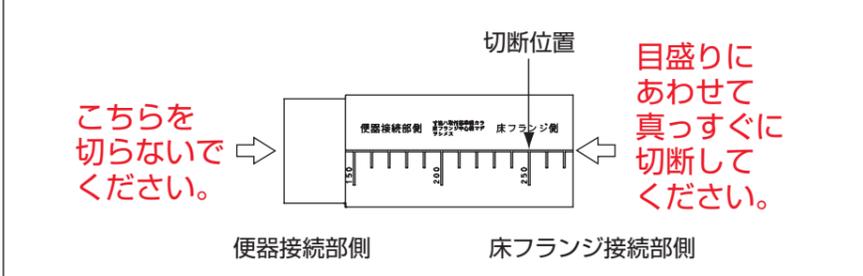


※取付基準線の位置決めは左右の2カ所で行ってください。

3 横引管の切断

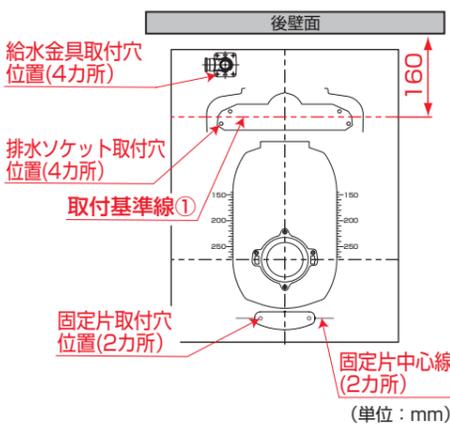
排水心の長さにあわせて、横引管を切断する。

(例) 上図測定寸法が250mmの場合

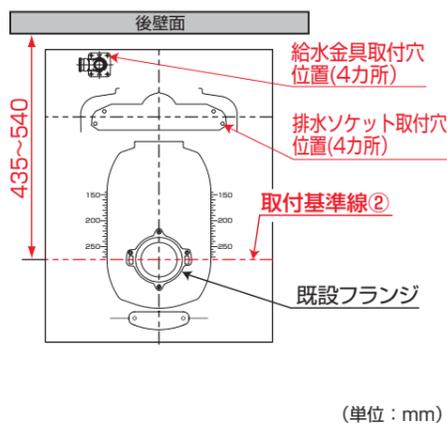


5 位置決めシートで固定穴位置をけがく

●排水心305～435mmの場合
①後壁面から160mmの位置に位置決めシートの取付基準線①をあわせて置く。



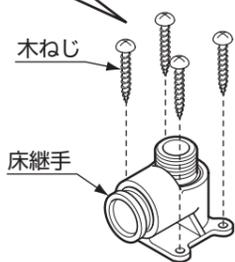
●排水心435～540mmの場合
①既設フランジ中心線に位置決めシートの取付基準線②をあわせて置く。



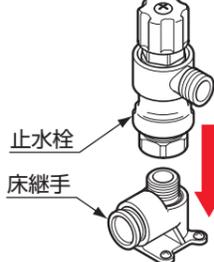
②位置決めシートを所定の位置に置き排水ソケット取付穴位置、固定片取付穴位置、給水金具取付穴位置、固定片中心線をけがく。
※床に木ねじをねじ込む前にφ3程度の下穴をあけると作業しやすくなります。

6 給水金具の取り付け

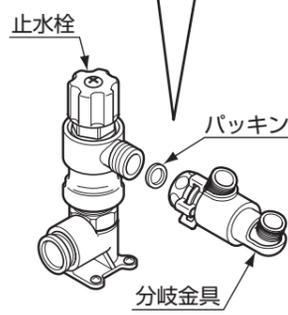
手順1
※固定する前にねじ部にはシールテープを巻いてください。
床継手を所定の位置に木ねじ(4本)で固定する。



手順2
床継手に止水栓をねじ込む。



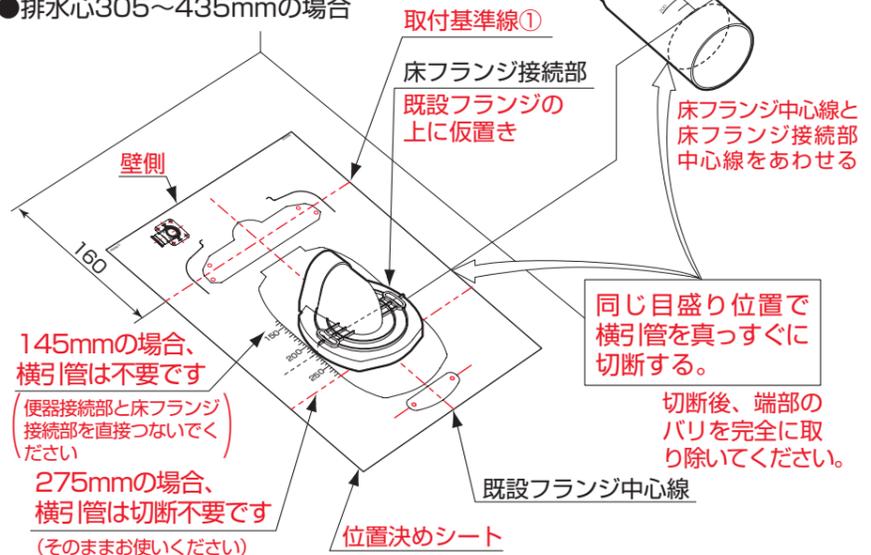
手順3
止水栓にパッキンと分岐金具を取り付ける。



※オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

3 横引管の切断 (つづき)

●排水心305～435mmの場合

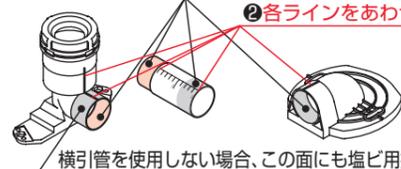


●排水心が435～540mmの場合、横引管は切断不要です。そのままお使いください。

4 排水アジャスターの組み立て

●排水心305～435mmの場合

①塩ビ用接着剤を十分塗布する。
②各ラインをあわせるように組み立てる。



横引管を使用しない場合、この面にも塩ビ用接着剤を十分塗布してください。

注意

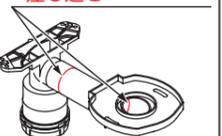


必ず実行

横引管は最後まで、きちんと押し込む
接着が不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

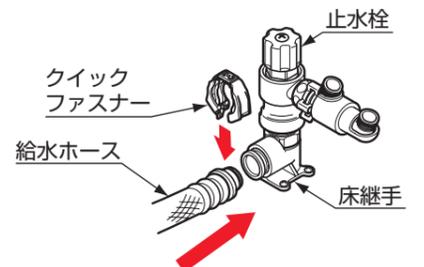
床面に対してガタツキがないように接着する
ガタツキが大きいと水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

③この面に当たるまで差し込む



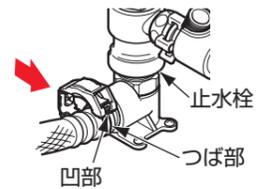
7 給水ホースの接続

①床継手に給水ホースを接続し、クイックファスナーを取り付ける。



クイックファスナーの取り付けかた

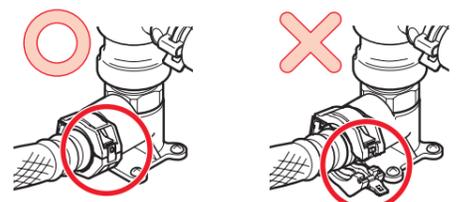
1) 床継手と給水ホースとのつば部にクイックファスナーカバー先端の凹部をあわせ、真っすぐ押し込む。



2) クイックファスナーは、カバーの先端を指先で確実に閉める。



3) クイックファスナーが確実に閉まっていることを目視などで確認する。



注意

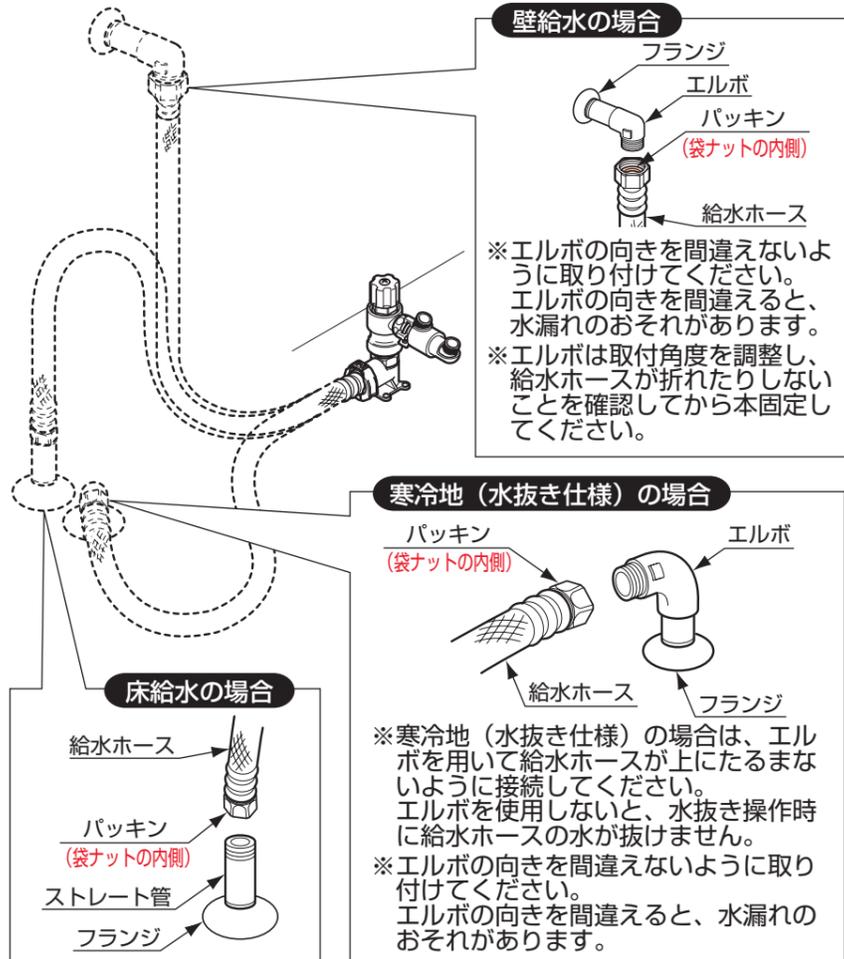


必ず実行

床継手と給水ホースはすき間ができないように確実に押し込む
クイックファスナーは正しく取り付け、目視などで確認する
カバーが閉まらない場合は、クイックファスナーが正しく接続されていない可能性があり、そのまま使用すると水漏れの原因になるので、必ずクイックファスナーを取り外して正しく接続し直す
取り付けが不十分な場合、外れて水漏れし、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。

7 給水ホースの接続 (つづき)

②既設の止水栓を取り外し、既設の給水管にストレート管 (床給水の場合) またはエルボ (壁給水や寒冷地の場合) を取り付け、給水ホースを接続する。



注意

- 袋ナットの内側にパッキンが入っていることを確認する
 - 給水ホースの取り付けの際、ホースの折れに注意する
- 水漏れして家財などをぬらす財産損害発生の原因になります。



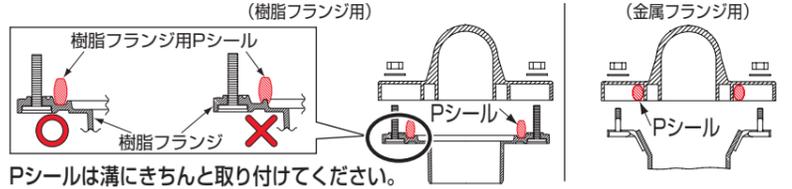
*オプションホースの接続については、オプション品同梱の施工説明書を確認してください。

8 固定片・排水アジャスターの取り付け

注意

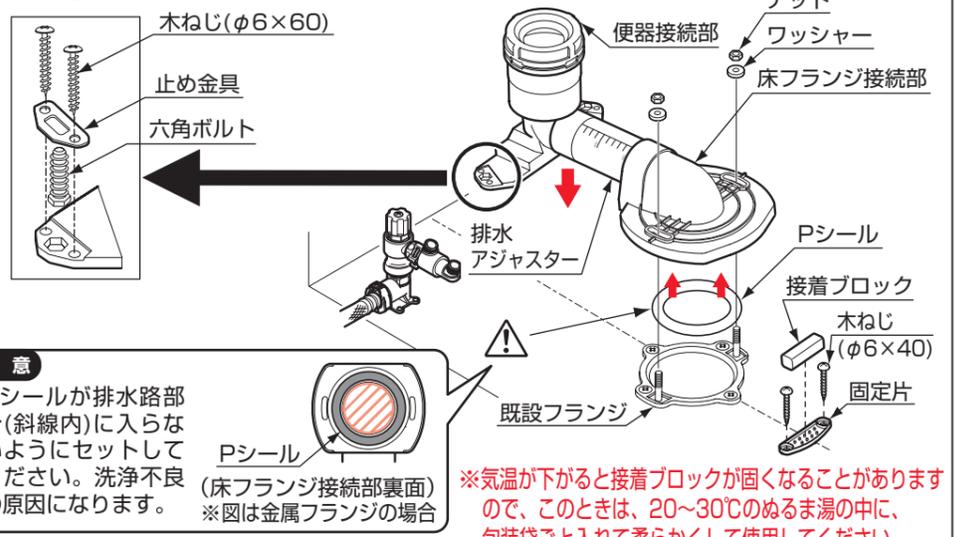
Pシール取り扱い上の注意

- 既設の床フランジのタイプにあわせ、必ず同梱 (再取り付け時は同品番) の金属フランジ用Pシール (補修品番: TH633) または、樹脂フランジ用Pシール (補修品番: TH633-3) を使用する
 - 既設のフランジタイプによって、Pシールのサイズと取付方法が異なるので、注意する
- Pシールを間違えて取り付けると、洗浄不良などの不具合や便器が詰まり汚水があふれたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



- 排水ソケットの六角穴に、六角ボルトの頭部を確実にはめ込む
- 確実にはめ込まれていないと、便器がガタつくおそれがあります。

- 樹脂フランジの場合 Pシール (樹脂フランジ用) をフランジにセットする。
- 金属フランジの場合 Pシール (金属フランジ用) を排水アジャスターにセットする。
- 排水アジャスターをフランジに押し付けてから、所定の位置に六角ボルトを立て、六角ボルトに止め金具を通したうえで、便器接続部の取付穴 (4カ所) に木ねじを入れ、確実に締める。
- 床フランジ接続部 (排水アジャスター) を、ワッシャー・ナットで既設フランジに固定する。
- 固定片の凹部に接着ブロックをセットする。



9 便器の取り付け

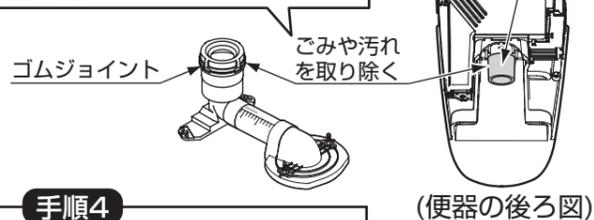
ワンポイント

排水ソケットに便器本体を取り付ける場合は、目安として壁から10~15mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
※壁に傷がつかないように注意してください。



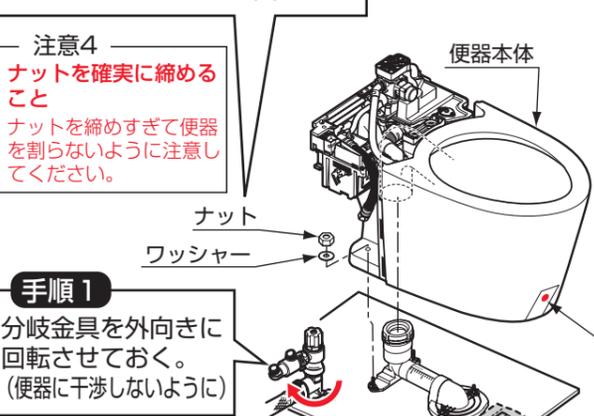
手順2

便器排水口および排水ソケットの接続部周辺のごみや汚れを取り除き排水口を排水ソケットに差し込む。



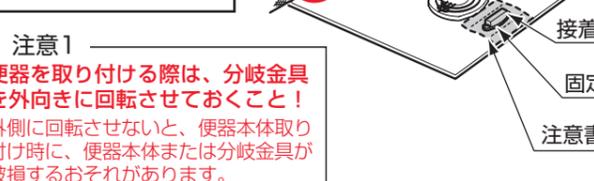
手順4

便器側の取付穴 (2カ所) をワッシャー、ナットで固定する。



手順1

分岐金具を外向きに回転させておく。
(便器に干渉しないように)



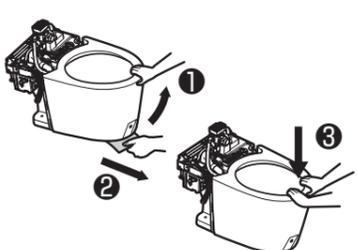
注意1

便器を取り付ける際は、分岐金具を外向きに回転させておくこと!
外側に回転させないと、便器本体取り付け時に、便器本体または分岐金具が破損するおそれがあります。

※壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

手順3

- センターラベルを基準に便器の位置を微調整する。
- 便器先端を少し持ち上げ、固定片の上のクラフト紙を引き抜く。
- 接着ブロックがつぶれるまで、便器をしっかり押しさえ、センターラベルをはがす。



注意

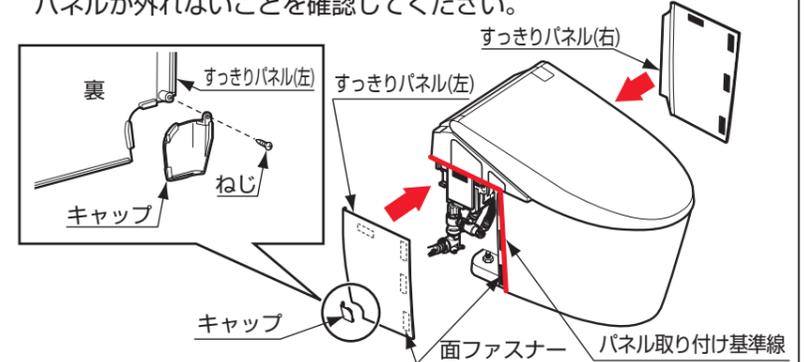
- センターラベルを基準に便器の位置を微調整してください。位置合わせ後、センターラベルをはがしてください。
- 便器が床につくまでしっかり便器を押しさえてください。

ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレット本体の取り付けはウォシュレット本体同梱の施工説明書に従って取り付けてください。

すっきりパネルの取り付け

- すっきりパネル (左) からねじを外して、キャップを取り外す。
 - ウォシュレット機能部の試運転確認後、すっきりパネルをパネル取り付け基準線 (赤線) にあわせて取り付ける。
- ※このとき、面ファスナー部 (4カ所) をしっかり押さえ、すっきりパネルが外れないことを確認してください。



取り付け後の確認

- 試運転 (洗浄) 後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などが無いことを確認してください。陶器表面に金属類 (時計のバンド、ベルトのバックルなど) が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社製品「蛇口まわりのクリーナー」で軽くこすって除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ (コーキング剤、配管用接着剤など) の付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤 (研磨剤なし) を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。

お客様に快適に使っていただくためのポイント

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング (木質系) を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング (木質系) を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材 (メジシール) を充てんすることをおすすめします。

